

聴覚機能訓練方法

ゲームを通じた楽しい聴カトレーニング！

概要

加齢による聴力の低下は、高齢者の会話などの日常的なコミュニケーションを困難にする。聴力が低下している高齢者に対しては、補聴器などの装置によるサポートが主流となっているが、高齢者自身の聴力改善を行うことはできなかった。従来の聴力を改善させる手法として、ホワイトノイズと一緒に音を聞くトレーニング方法があるが、単調でつまらないためトレーニングが継続できないという問題点があった。

本発明は、ゲーム（脳トレ）を行いながら、聴覚刺激の音量を徐々に小さくしていくことで、聴力を鍛える方法である。ゲーム形式のため、高齢者が楽しく、意欲的にトレーニングを続けることができる。また、高齢者自身の聴力が改善され、装置や環境に関わらず快適な生活を送れるようになることが期待される。

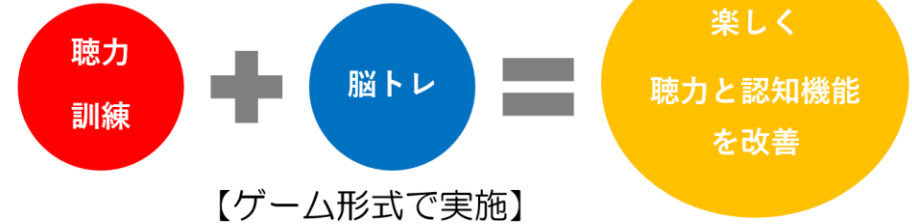
応用例

- 聴力低下予防・改善ゲーム(脳トレ)の開発
- ヘルスケアサービスへの応用
- テレビ、ロボットなどの家電への応用

知的財産データ

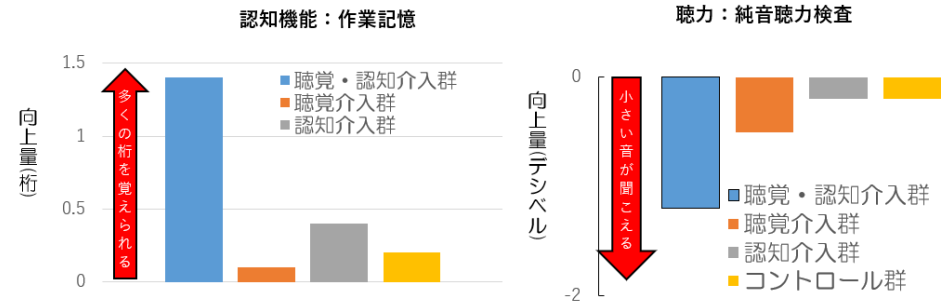
知財関連番号 : 特願2021-000169
 発明者 : 川島 隆太、野内 類、河田 百合子
 整理番号 : T20-337

【音量を下げる訓練】



効果：認知機能と聴力が改善

聴力介入と認知介入を同時に行うと、認知機能と聴力が向上する（グラフ：青）



参考文献

- [1] Kawata NYS. et al. Front. Aging Neurosci. (2022) 14:826672.
 [2] JST主催 東北大学新技術説明会2021発表資料
https://shingi.jst.go.jp/list/list_2021/2021_tohoku.html

お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH